



人を想い、
地球を想う。

第99期 年次報告書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで



三ツ星ベルト株式会社

過去最高益を更新。 世界最適生産体制の確立とコスト競争力のある体質づくりを目指します。

株主のみなさまには、平素格別のご高配を賜り、有難く厚くお礼申し上げます。

第99期の概況をお届けするにあたりまして、株主のみなさまのご懇情に心から厚くお礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、アベノミクス効果によって円安と株高が進行し、消費の持ち直しに加えて設備投資の改善が進んだことなどから、景気は緩やかに回復しました。海外経済は、米国・欧州が景気回復傾向にあり、中国も一時の勢いはないものの安定的な成長が続く一方、新興国の景気は弱含みで推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループはアジア圏を中心とする市場の販売活動を強化するとともに生産体制の再構築を推進し、経営の効率化と一層のコスト削減に取り組んでまいりました。

今後の企業を取り巻く環境は、国内経済は、消費税増税前の駆け込み需要の反動による一時的な景気の落ち込みが予測されますが、夏場以降は個人消費の持ち直しや堅調な設備投資に支えられ、景気が緩やかに回復するとの見方が広がっています。一方、海外では米欧をはじめとする先進国経済が堅調に回復すると見られるものの、新興国・資源国の経済に不透明感が漂い、また、ウクライナ情勢も流動的であることから、必ずしも楽観視できない状況にあると見られています。

このような状況のもとで、当社グループといたしましては、原材料価格高、アジア諸国での人件費高騰やユーザの生産拠点の海外移管に伴う国内需要の減少による収益の圧迫が懸念されますが、当社グループ全体で一段と経営の効率化とコスト削減に取り組むとともに、柔軟な生産体制の確立と販売体制の強化並びに強固な財務体質づくりを推進いたします。また、次世代の産業分野のニーズに対応できる「高機能、高精密、高品質な製品づくり」を目指すため、引き続き研究開発体制の強化・充実を図り、業績の確保に努めてまいります。

株主のみなさまには、今後とも一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成26年6月



代表取締役会長

西河紀男



代表取締役社長

垣内一

連結業績概況

当連結会計年度の当社グループの業績は、売上高636億85百万円(前連結会計年度比14.6%増)、営業利益61億24百万円(前連結会計年度比17.3%増)、経常利益73億2百万円(前連結会計年度比21.9%増)、当期純利益は47億21百万円(前連結会計年度比26.4%増)となりました。

財政状態については、当連結会計年度末は、受取手形及び掛金の増加等により流動資産が38億4百万円、有形固定資産が3億12百万円、株価の上昇に伴い投資その他の資産が16億66百万円とそれぞれ増加した結果、総資産は前連結会計年度末比57億86百万円増加の785億76百万円となりました。

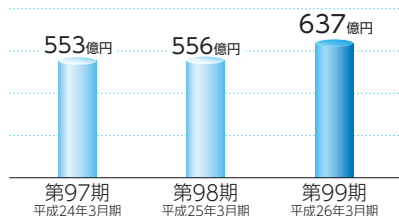
一方、負債は、流動負債が6億62百万円増加したものの、固定負債が14億53百万円減少したことから、前連結会計年度末比7億90百万円減少の278億54百万円となりました。

純資産は、当期純利益等の計上により利益剰余金が37億91百万円、株価の上昇及び為替が円安に推移した影響等によりその他の包括利益累計額が27億88百万円とそれぞれ増加した結果、前連結会計年度末比65億75百万円増加の507億21百万円となりました。

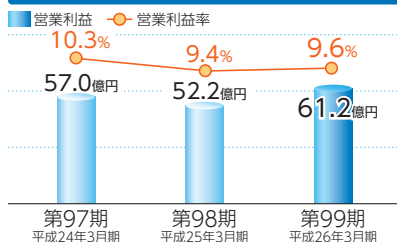
以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の60.6%から64.6%に上昇しました。



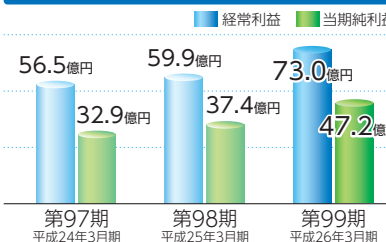
売上高



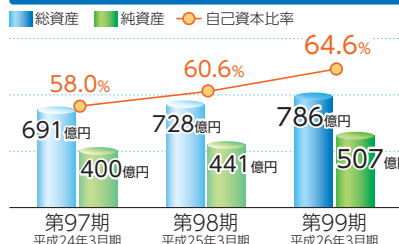
営業利益・営業利益率



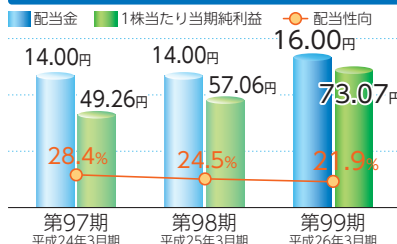
経常利益・当期純利益



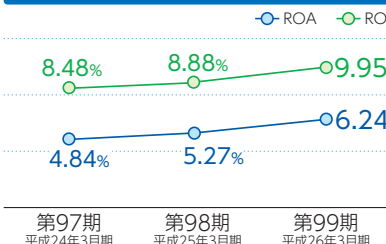
総資産・純資産・自己資本比率



配当金・1株当たり当期純利益・配当性向

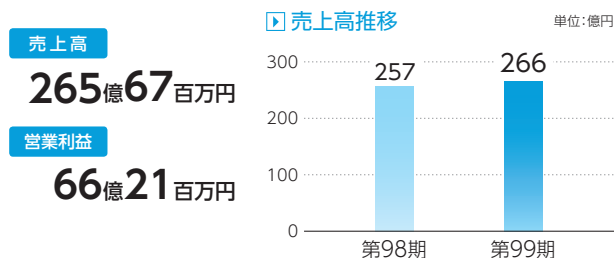


ROA (総資産利益率)・ROE (自己資本利益率)



事業部門別状況

国内ベルト事業



自動車用ベルトは、国内新車販売は消費税増税前の駆け込み需要などから増加したものの、ベルト非装着車種の増加により、新車組み込みライン用の売上高は前連結会計年度並みとなりました。補修用ベルトは車検交換需要の減少などから売上高が減少しました。

一方、為替の円安進行によりユーザの海外生産移管の流れが鈍化しつつあることから、一般産業用ベルト・OA機器用ベルトの売上高は、前連結会計年度を上回る結果となりました。

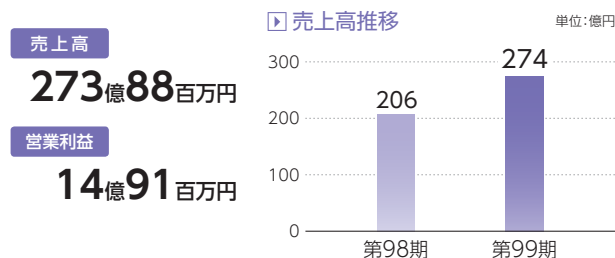
また、運搬ベルトは積極的な新製品の投入が売上拡大に寄与するとともに、合成樹脂素材も自動車関連部品が伸長し、いずれも売上高が増加しました。

その結果、当事業の売上高は265億67百万円（前連結会計年度比3.4%増）、営業利益は66億21百万円（前連結会計年度比10.5%増）となりました。



ゴム粉の発生を大幅に抑えるクリーンルーム向けゴム粉飛散防止 省エネVベルト [e-POWER α (イーパワー アルファ)]

海外ベルト事業



欧州では、自動車用ベルトの売上高は現地通貨ベースでは前連結会計年度を下回りましたが、一般産業用ベルトは農業機械用の売上高が伸長し、全体では前連結会計年度を上回る結果となりました。

米国では、自動車用ベルトと一般産業用ベルトの売上高はいずれも堅調に推移しました。

一方、アジアでは積極的な拡販活動により、中国やインドネシアを中心に一般産業用ベルト・自動車用ベルトの売上高がいずれも増加しました。また、OA機器用ベルトはユーザの増産により売上高が増加しました。

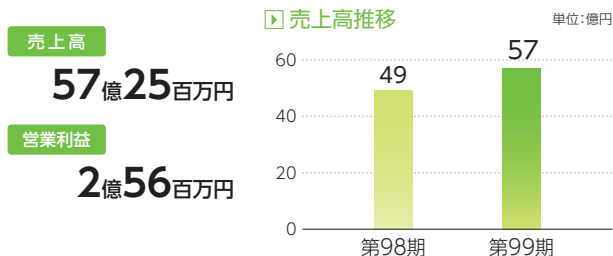
当事業全体の売上高は現地通貨ベースで前連結会計年度を上回る結果となった上に、為替レートが前連結会計年度と比較し円安になったことにより、邦貨ベースでは大幅な増加となりました。

その結果、当事業の売上高は273億88百万円（前連結会計年度比32.7%増）、営業利益は14億91百万円（前連結会計年度比90.1%増）となりました。



大きな衝撃、プリー径が小さく逆方向の曲げ、高温下での使用など、苛酷な使用条件に耐えるよう設計された農業機械用長尺Vベルト

建設資材事業



建築部門は期間の前半は売上高が低調に推移しましたが、後半は建設投資全体に回復の動きが見え、公共工事や民間の改修工物件の売上高が復調し、通期では増加しました。

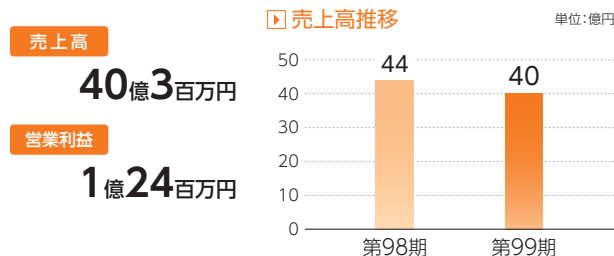
土木部門は廃棄物処分場向け工物件や、遮水シートの材料販売が好調に推移し、売上高が増加しました。

その結果、当事業の売上高は57億25百万円（前連結会計年度比17.0%増）、営業利益は2億56百万円（前連結会計年度比89.9%増）となりました。



金属屋根を加硫ゴムシートで覆い改修する「ステージーフ防水工法」

その他



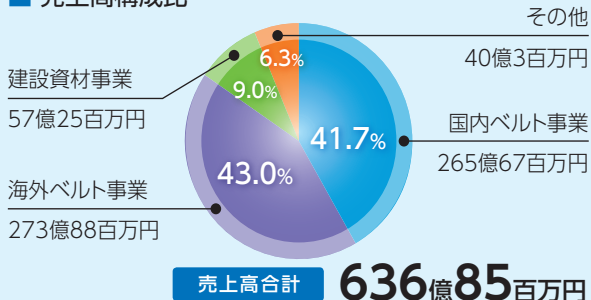
その他には、エンジニアリング ストラクチャルフォーム、ナノ粒子を応用した新製品、仕入商品等が含まれております。

その他の売上高は40億3百万円（前連結会計年度比8.1%減）、営業利益は1億24百万円（前連結会計年度比17.6%減）となりました。

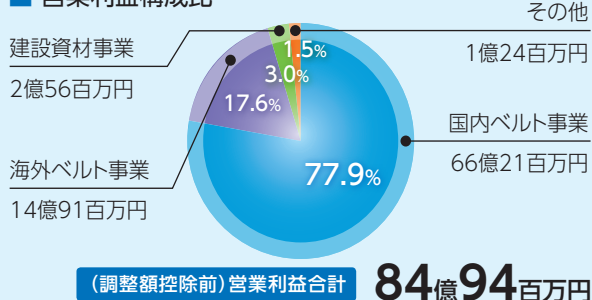


銀ナノペーストは配線・電極基板として電子部品の高性能化、高信頼性に貢献しています。

売上高構成比



営業利益構成比

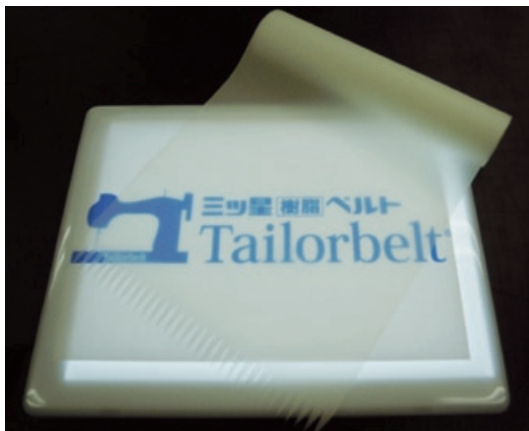




樹脂ベルトの新コンセプト「Tailorbelt」シリーズに2つの新製品が加まりました。

食品の目視選別検査ラインで使用される、LEDバックライトコンベヤに最適の“光透過性ベルト”と従来の両面帆布ベルトの色移り・色落ち対策で、食品衛生法適合の特殊繊維使用の“両面帆布ブルーベルト”を発売いたしました。

光透過性ベルト



従来ベルトにはないレベルの“光透過性”を有します

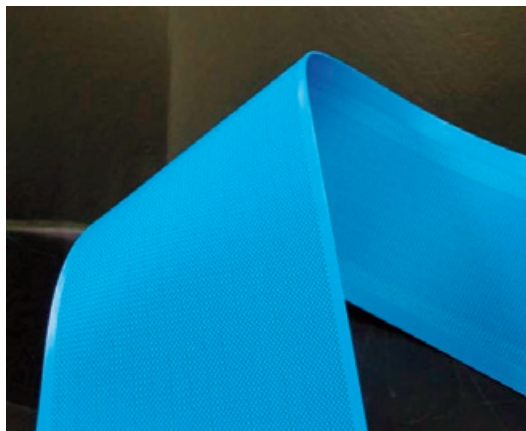
<特徴>

- (1) 表カバーには耐光性に優れた無黄変ポリウレタンを使用
- (2) ベルト伸びを抑える心体帆布を使用
- (3) 食品衛生法に適合

<光透過性>

ベルトの光透過率は最高 約**96%**（従来品約70%）

両面帆布ブルーベルト



青色帆布を使用した両面帆布の樹脂ベルトです

<特徴>

- (1) 着色でも染色でもない、新規の特殊繊維を使用
色落ちや色移りなどの心配がありません
- (2) 染色では適合できなかった「食品衛生法」に適合
- (3) プレミアムシール加工（耳シール）を施すことで
より衛生的に！

農業機械用Vベルトの新シリーズとして 「SUPER AG-X」を開発・販売開始

「SUPER AG-X」は、新開発のカバー布とV芯ゴムを採用することで、耐摩耗性・耐衝撃性を向上させ、従来品に比べ高い耐久性を実現しました。

農業機械の大型化に伴い、耐久性に優れたベルトの需要が高まっています。既に国内外で販売を開始しており、また、農業機械メーカーに納入を開始しております。

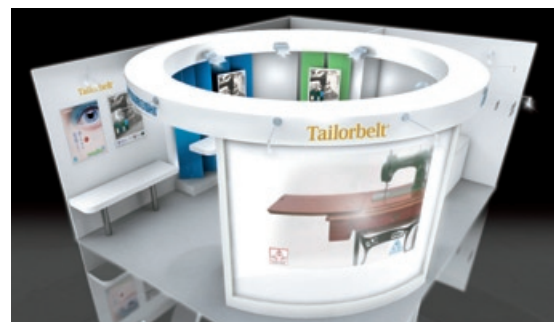


FOOMA JAPAN (2014国際食品工業展)に出展

当社は、FOOMA JAPAN(2014国際食品工業展)に出展しました。樹脂コンベヤベルトの新たなモノづくりコンセプト「Tailorbelt®(テーラーベルト)」シリーズより、今回「光透過性ベルト」、「フッ素コーティングベルト」、「ブルーベルト」他、テーラー加工として「プレミアムBTR棧」を出展しました。また、環境に配慮した製品として「バイオマスベルト」も、出展いたしました。

主な出展品

樹脂コンベヤベルト 「Tailorbelt®」	光透過性ベルト	異物検査ラインに最適なベルトで光透過率96%達成
	フッ素コーティングベルト	ベルト表面に耐熱性・離型性に優れたフッ素樹脂を採用
	ブルーベルト	異物識別が容易なスカイブルーに新しく2品種を加え、全11品種をラインナップ
樹脂コンベヤベルト 「Tailor加工」	Premiumプリント	特殊印刷により、ベルト表面への複雑なマークや画像のプリントが可能
	Premium電光式エンドレス	電光割れに強く、ナイフエッジでのアキュム走行が可能
	Premiumシール	ベルト両端部からの水や油の浸透を防ぎます
エンジニアリング プラスチック	「クリンピー®」シリーズ	抗菌性・防カビ性に優れた樹脂素材のラインナップ
	キャストナイロン	ブルー・アイボリー・ブラックに加え、イエロー・レッド・グリーンの新色をラインナップ
	PIM適合素材	欧州のプラスチック指令 (PIM) に適合する樹脂素材をラインナップ



連結財務諸表

連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

Point 1 流動資産

流動資産は、受取手形及び売掛金が21億89百万円増加したことなどにより、前期末と比較して38億4百万円増加しました。

Point 2 固定資産

固定資産は、新規設備投資に伴う有形固定資産が3億12百万円増加、株価の上昇に伴い投資その他の資産が16億66百万円増加したため、前期末と比較して19億82百万円増加しました。

Point 3 純資産

純資産は、当期純利益等の計上により利益剰余金が37億91百万円、株価の上昇及び為替が円安に推移した影響等によりその他の包括利益累計額が27億88百万円増加しました。以上の結果、自己資本比率は前期末と比較して4.0ポイント上昇して64.6%となりました。

科目	前期 平成25年3月31日現在	当期 平成26年3月31日現在
資産の部		
流動資産	42,135	45,939
現金及び預金	14,875	15,326
受取手形及び売掛金	12,808	14,997
その他	14,450	15,615
固定資産	30,655	32,637
有形固定資産	20,808	21,120
無形固定資産	76	79
投資その他の資産	9,770	11,436
資産合計	72,790	78,576
負債の部		
流動負債	19,505	20,167
固定負債	9,139	7,686
負債合計	28,644	27,854
純資産の部		
株主資本	42,138	45,925
資本金	8,150	8,150
資本剰余金	5,480	5,480
利益剰余金	31,917	35,708
自己株式	△ 3,410	△ 3,414
その他の包括利益累計額	2,008	4,796
純資産合計	44,146	50,721
負債純資産合計	72,790	78,576

(注) 表示金額は、百万円未満を切り捨てております。

連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
売上高	55,581	63,685
売上原価	38,995	44,852
販売費及び一般管理費	11,364	12,708
営業利益	5,220	6,124
営業外収益	1,212	1,561
営業外費用	440	383
経常利益	5,992	7,302
特別利益	—	224
特別損失	—	514
税金等調整前当期純利益	5,992	7,012
法人税、住民税及び事業税	1,945	2,278
法人税等調整額	311	12
少数株主損益調整前当期純利益	3,735	4,721
当期純利益	3,735	4,721

(注) 表示金額は、百万円未満を切り捨てております。

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,731	6,619
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,145	△ 2,696
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,045	△ 4,059
現金及び現金同等物に係る換算差額	574	543
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 884	407
現金及び現金同等物の期首残高	14,808	14,317
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	392	—
決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	15
現金及び現金同等物の期末残高	14,317	14,740

(注) 表示金額は、百万円未満を切り捨てております。

»Point 4 売上高

売上高は、前期と比較して81億4百万円増加し、636億85百万円となりました。連結売上高は、前期と比較して14.6%増となり、4期連続で増加しています。

»Point 5 経常利益

経常利益は、円安に伴う為替差益の計上などにより前期と比較して13億10百万円増加の73億2百万円となりました。経常利益率は、10%以上を確保しております。

»Point 6 当期純利益

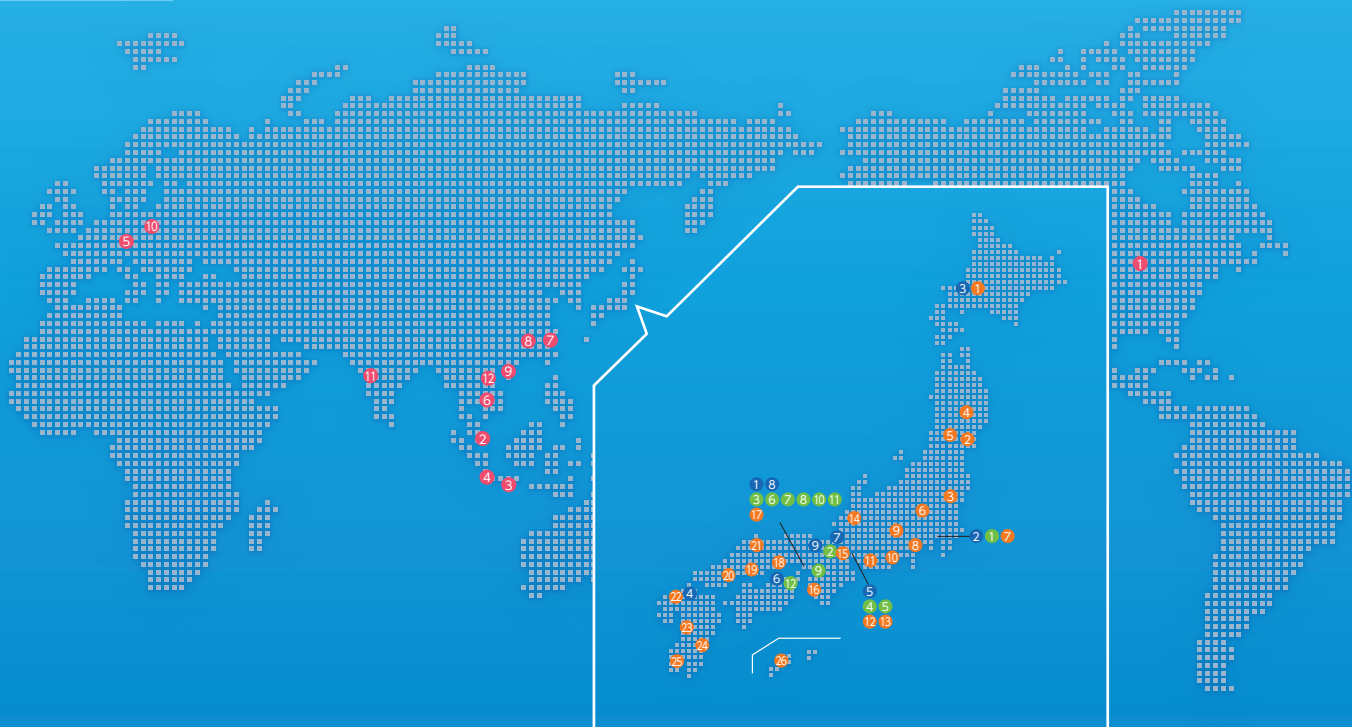
当期純利益は、税金等調整前当期純利益が10億20百万円増加したことにより、前期と比較して9億86百万円増加の47億21百万円となりました。

»Point 7 連結キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、前期と比較して8億88百万円増加の66億19百万円の収入となりました。主な要因は、前期と比較して税金等調整前当期純利益が10億20百万円増加したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前期と比較して4億49百万円増加の26億96百万円の支出となりました。主な要因は、前期と比較して定期預金の預入による支出が3億92百万円減少したことによるものです。

また、当期連結子会社の決算期統一を行ったため、現金及び現金同等物が15百万円増加し、現金及び現金同等物の当期末残高は147億40百万円となりました。



国内の生産・販売拠点

三ツ星ベルト株式会社

- ① 神戸本社
- ② 東京本社
- ③ 札幌営業所
- ④ 福岡営業所
- ⑤ 名古屋工場
- ⑥ 四国工場
- ⑦ 滋賀工場
- ⑧ 神戸事業所
- ⑨ 綾部事業所

三ツ星ベルトグループ会社

- ① 三ツ星ベルト販賣(株)
- ② 三ツ星コード(株)
- ③ 三ツ星ベルト工機(株)
- ④ 三ツ星ベルトコンベヤ(株)
- ⑤ 三ツ星ベルト樹脂(株)
- ⑥ 三ツ星ベルト技研(株)
- ⑦ 三ツ星物流工産(株)
- ⑧ ミベック(株)
- ⑨ ネオ・ルーフィング(株)
- ⑩ 神戸三ツ星サービス(株)
- ⑪ エムエムコート(株)
- ⑫ エム・ビ・エル・総合サポート(株)

三ツ星ベルト販賣株式会社

- ① 札幌営業所
- ② 仙台営業所
- ③ いわき営業所
- ④ 盛岡営業所
- ⑤ 山形営業所
- ⑥ 北関東営業所
- ⑦ 東京営業所
- ⑧ 神奈川営業所
- ⑨ 山梨営業所
- ⑩ 静岡営業所
- ⑪ 浜松営業所
- ⑫ 名古屋営業所
- ⑬ 小牧営業所
- ⑭ 金沢営業所
- ⑮ 長浜営業所
- ⑯ 和歌山営業所
- ⑰ 神戸営業所
- ⑱ 岡山営業所
- ⑲ 福山営業所
- ⑳ 広島営業所
- ㉑ 松江営業所
- ㉒ 福岡営業所
- ㉓ 熊本営業所
- ㉔ 宮崎営業所
- ㉕ 鹿児島営業所
- ㉖ 沖縄営業所

海外の生産・販売拠点

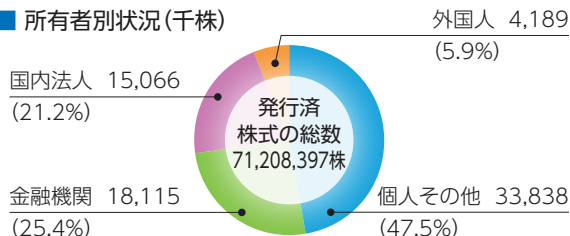
- ① MBL(USA) CORPORATION
- ② MITSUBOSHI OVERSEAS HEADQUARTERS PRIVATE LIMITED
- ③ P.T. SEIWA INDONESIA
- ④ PT. Mitsuboshi Belting Indonesia
- ⑤ MBL Antriebstechnik Deutschland GmbH
- ⑥ Stars Technologies Industrial Limited
- ⑦ 上海共星機帶國際貿易有限公司
- ⑧ 蘇州三之星機帶科技有限公司
- ⑨ MOI TECH HONG KONG LIMITED
- ⑩ MITSUBOSHI POLAND Sp. z o.o.
- ⑪ MITSUBOSHI BELTING-INDIA PRIVATE LIMITED
- ⑫ Mitsuboshi Belting VIETNAM Co., Ltd.

株式の概況 (平成26年3月31日現在)

1. 株式

発行可能株式総数	325,213,000株
発行済株式の総数	71,208,397株
株主数	7,143名

所有者別状況 (千株)



会社の概要 (平成26年3月31日現在)

- 商号 Mitsuboshi Belting Ltd.
- 創業 大正8年10月10日
- 設立 昭和7年10月10日
- 資本金 81億5,025万1,031円
- 従業員数 696名
- 営業品目
 - ベルト V型ベルト、歯付ベルト、伝動機器・装置、運搬ベルト及び装置、ポリウレタン製工業用品、合成樹脂素材、その他ベルト
 - 建設資材 建築用防水シート、土木用遮水シート
 - その他 エンジニアリング ストラクチャル フォーム、その他

- 事業場 神戸本社 神戸市長田区浜添通4丁目1番21号 ☎(078)671-5071代表
- 東京本社 東京都中央区日本橋2丁目3番4号 ☎(03)5202-2500代表
- 札幌営業所 札幌市豊平区豊平二条3丁目1番17号 ☎(011)841-9135代表
- 福岡営業所 福岡市博多区板付1丁目3番1号 ☎(092)441-4451代表
- 名古屋工場 愛知県小牧市大字西之島1818番地 ☎(0568)72-4121代表
- 四国工場 香川県さぬき市津田町津田2893番地 ☎(0879)42-3181代表
- 滋賀工場 滋賀県高島市マキノ町寺久保100番地2 ☎(0740)27-0133代表
- 神戸事業所 神戸市長田区浜添通4丁目1番21号 ☎(078)671-5071代表
- 綾部事業所 京都府綾部市城山町7番1 ☎(0773)43-3051代表

2. 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	4,553,000	6.39
トヨタ自動車株式会社	2,355,125	3.31
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,340,550	3.29
星友持株会	2,282,870	3.21
小田欽造	2,070,000	2.91
西松建設株式会社	2,000,000	2.81
三ツ星ベルト社員持株会	1,750,130	2.46
日本生命保険相互会社	1,562,875	2.19
三井物産株式会社	1,500,000	2.11
東京海上日動火災保険株式会社	1,376,804	1.93

(注) 上記のほか当社所有の自己株式6,596,735株があります。

役員 (平成26年4月1日現在)

代表取締役 会長	西河紀男	常務執行役員	黒野正治
取締役 副会長	喜田宏	常務執行役員	對川芳憲
代表取締役社長 兼社長執行役員	垣内一	常務執行役員	熊野格夫
取締役兼 常務執行役員	山口良雄	執行役員	竹中昌弘
取締役兼 常務執行役員	中嶋正仁	執行役員	羽村健
取締役兼 常務執行役員	小田芳裕	執行役員	佐々木孝
取締役兼 常務執行役員	片山孝	執行役員	増田健吉
		執行役員	西河俊伸
		執行役員	池田浩
		執行役員	陳振耀
監査役 (常勤)	井ノ口正弘	執行役員	伊藤辰雄
監査役	奥島吉雄	執行役員	森野峰雄
監査役	宇佐美貴史	執行役員	又場敬司
監査役	若林邦昌		

(注) 監査役宇佐美貴史及び若林邦昌の両氏は、社外監査役であります。

会計監査人 新日本有限責任監査法人

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 単元株式数 1,000株
- 剰余金の配当の基準日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
- 上場金融商品取引所 東京
- 株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話(通話料無料)0120-094-777
- 公 告 方 法 電子公告により行う。

公告掲載ホームページは、http://www.mitsuboshi.co.jp/japan/denshi_koukoku/index.htmlに掲載しております。

なお、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



当社ホームページでも、最新のIR情報をご案内しております。

www.mitsuboshi.co.jp

UD FONT



この冊子の印刷には、環境に配慮した
植物油インキを使用しています。